



おっきなおイモ、たくさんとれたよ。わたしの手より大きいんだよ。／菊池幼稚園

**Vol.63** 9月定例会

令和2年12月1日号

お知らせ

今年度の議会報告会は中止します

P15

一般質問

12人が市政を問う！

P8~14

New

常任委員会報告

P3~6

第3回定例会審議結果

P2

# 菊池

題字／泗水中学校3年 荒木 穂乃実 さん

議会だより

# 令和2年 第3回 定例会

この定例会では、専決処分の報告及び承認を求めることをはじめ、令和2年度菊池市一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例など24議案が提案されたほか、請願3件、菊池広域連合議会議員選挙などの議事3件も慎重に審議しました。また、報告が5件ありました。追加議案として、工事請負契約の締結などの議案2件、意見書案3件と、決議案1件が提案されました。

審議の結果、決議案第2号、請願第1号を除き、原案のとおり可決・承認しました。議員提出議案第2号は否決、請願第1号は前回定例会に引き続き継続審議となりました。

※専決処分・・・議会の議決または決定すべきことについて、市長が議会に代わって処分すること。  
議会の招集する時間が無いときなどに行うものと、議会の議決によりあらかじめ指定したものがあります。

**開催日：8月26日(水)～9月25日(金)**

主なものは以下のとおりです。

## 令和2年第3回定例会における主な付議事件一覧及び審議結果表

| 議案番号   |     |      | 議案名（内容）                                                                                              | 結果   |
|--------|-----|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 第3回定例会 | 議案  | 第83号 | 令和元年度菊池市一般会計歳入歳出決算の認定について                                                                            | 原案認定 |
|        | 議案  | 第84号 | 令和元年度菊池市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について                                                                    | 原案認定 |
|        | 議案  | 第85号 | 令和元年度菊池市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について                                                                   | 原案認定 |
|        | 議案  | 第86号 | 令和元年度菊池市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について                                                                      | 原案認定 |
|        | 決議案 | 第2号  | 菊池市第3セクター七城町特産品センター（メロンドーム）及び七城町振興公社（温泉ドーム）に対する市長の監督権の行使に関する調査に関する決議<br>(行政の監視機関である市議会が調査し実態を究明するもの) | 原案否決 |

## 賛 否 表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 除は除斥 /は議長職時

| 議案     | 議席番号   |    | 1      | 2     | 3       | 4       | 5       | 6       | 7     | 8       | 9       | 10      | 11        | 12      | 13      | 14        | 15      | 16        | 17      | 18      | 19        | 20      |         |  |
|--------|--------|----|--------|-------|---------|---------|---------|---------|-------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|-----------|---------|-----------|---------|---------|-----------|---------|---------|--|
|        |        |    | 結 果    | 表 決 数 | 田 中 教 之 | 福 島 英 徳 | 緒 方 哲 郎 | 後 藤 英 夫 | 平 直 樹 | 東 奈 津 子 | 坂 本 道 博 | 水 上 隆 光 | 猿 渡 美 智 子 | 松 岡 讓 之 | 荒 木 崇 賢 | 柁 原 圭 一 郎 | 工 藤 典 臣 | 城 大 賀 慶 一 | 水 上 彰 澄 | 二ノ文 伸 元 | 泉 田 栄 一 朗 | 木 下 雄 二 | 山 瀬 義 也 |  |
|        |        |    |        |       | 賛 成     | 反 対     |         |         |       |         |         |         |           |         |         |           |         |           |         |         |           |         |         |  |
|        |        |    |        |       |         |         |         |         |       |         |         |         |           |         |         |           |         |           |         |         |           |         |         |  |
| 第3回定例会 | 議案第83号 | 認定 | 18 対 1 | ○     | ○       | ○       | ○       | ○       | ●     | ○       | ○       | ○       | ○         | ○       | ○       | ○         | ○       | ○         | ○       | ○       | ○         | ○       |         |  |
|        | 議案第84号 | 認定 | 18 対 1 | ○     | ○       | ○       | ○       | ○       | ●     | ○       | ○       | ○       | ○         | ○       | ○       | ○         | ○       | ○         | ○       | ○       | ○         | ○       |         |  |
|        | 議案第85号 | 認定 | 18 対 1 | ○     | ○       | ○       | ○       | ○       | ●     | ○       | ○       | ○       | ○         | ○       | ○       | ○         | ○       | ○         | ○       | ○       | ○         | ○       |         |  |
|        | 議案第86号 | 認定 | 18 対 1 | ○     | ○       | ○       | ○       | ○       | ●     | ○       | ○       | ○       | ○         | ○       | ○       | ○         | ○       | ○         | ○       | ○       | ○         | ○       |         |  |
|        | 決議案第2号 | 否決 | 4 対 15 | ●     | ○       | ●       | ●       | ●       | ●     | ●       | ●       | ●       | ●         | ○       | ●       | ●         | ●       | ○         | ●       | ○       | ○         | ●       |         |  |

※除斥：議案と一定の利害関係を持つ議員は、当該議案の審議・採決に参加することができない。

※上記以外の議案は、全会一致で可決しました。

# 常任委員会報告

## 総務文教常任委員会

委員長／平直樹 副委員長／緒方哲郎

委員／福島英徳 猿渡美智子 柁原賢一

水上彰澄 木下雄二

### 菊池市市民会館あり方検討委員会条例

可決

#### 内容

菊池市市民会館は、現在文化会館及び泗水ホールとの2つの施設で構成しているが、2つの施設とも老朽化が進み、不具合等も多くなってきたおり、個別施設計画を踏まえ、今後の市民会館のあり方について市民を交えて検討し、方針を定める必要があることから、市民会館あり方検討委員会を設置する。



▲文化会館



▲泗水ホール

#### 質問

個別施設計画では統合することとどしたが、どちらかの施設を無くして一つの施設とするのか。

#### 答弁

統合のあり方については、どちらかに統合するか、若しくは新たな場所に設置して2つを一つにするという案も考えられる。

## 福祉厚生常任委員会

委員長／坂本道博 副委員長／田中教之

委員／東奈津子 水上隆光 荒木崇之

城典臣

### 菊池市手数料条例の一部改正

可決

#### 内容

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴うものであり、総務省から通知カードの新規交付や再発行は行わない旨の通知があったため、「個人番号の通知カードの再交付一件につき500円」を削除するもの。

#### 質問

マイナンバーカードを作りたくない人や通知書無くしたときにどうしたらよいか。

#### 答弁

必要な場合は、マイナンバー入り住民票の写しを取る方法がある。



## 経済建設常任委員会

委員長／後藤英夫 副委員長／泉田栄一郎

委員／松岡譲 工藤圭一郎 二ノ文伸元

山瀬義也

### 菊池市給水条例の一部改正

可決

#### 内容

民法の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものであり、遅延損害金の算定利率が民法で「年5分」から「年3分」へ改正されたことから、市では今後の利率改正にも対応できるように「年3分」という表記ではなく「民法に規定する法定利率」へ改めるもの。

### 種苗法改正の慎重審議を求める請願

継続審議

#### 内容

地域農業や農家、消費者の権利を守り、安定した農作物・食料を確保する観点から、国会における種苗法改正の慎重審議を行うよう求めるもの。

#### 意見

もう少し農業者や関連団体との調整が必要ではないか。

#### 意見

生産者側と消費者側とは考え方の立場が違うのではないか。

国や農業者団体、農業者でも意見が割れている問題であり、生産者と消費者といった観点でも考えていく必要があることから、前回定例会に引き続き継続審議としました。



## 予算決算常任委員会

委員長／松岡 譲

副委員長／城 典臣

分科会長／（総務文教）平 直樹

（福祉厚生）坂本道博

（経済建設）後藤英夫

委員／議長を除く14人



### 令和2年度

#### 一般会計補正予算（第8号）

可決

##### 主な内容

○新型コロナウイルス感染症の影響により、観光・飲食事業をはじめ、あらゆる事業において危機的な経営状況が続いており、感染拡大防止対策等への補助を行うことで商工業者を支援するもの。

・感染防止対策の強化を行う事業者に対し、業種毎に基準を設けて補助を行う。

・感染防止アドバイザーによる指導・助言・確認を行い、感染防止対策を行う事業者へのぼりや認定ステッカー等を交付する。



### 令和2年度

#### 一般会計補正予算（第9号）

可決

##### 主な内容

○小中学校の電子黒板等の老朽化に伴う更新整備にあたり、リース更新から購入更新へ切り替えることで、後年度の負担軽減を図るもの。

○観光・飲食業を支援することで、観光客の誘致促進、及び地元消費の喚起・拡大につなげるための宿泊助成事業、飲食店支援事業

○保育所、病児病後児

保育施設、放課後児

童育成クラブ等が行

う新型コロナウイルス

感染症防止のため

の備品・消毒用消耗

品等の購入補助や、

放課後児童育成クラ

ブ利用料減免事業



#### 委員会（分科会）での主な審議内容

##### 〔補正予算〕家庭学習支援事業

1、194万2千円

##### 内容

家庭学習支援のため、インターネット未整備の小中学校世帯に対し、アクセスポイント購入費、及び光回線工事費の導入費用を補助

するもので、それぞれ1万円を限度に合計2万円まで補助する。

##### 質問

インターネットの環境整備は、来年から小学校に入学する世帯にも支給するのか。

##### 答弁

今回の整備は、臨時交付金の対象であり、来年度も同じように臨時交付金がある場合は、補助の延長も想定したい。

##### 〔補正予算〕

#### 市税・公金等のキャッシュレス納付推進事業

1、020万3千円

##### 内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新しい生活様式に対応するべく、キャッシュレス化を推進する。（一般、国保、介護、後期高齢、上下水道の各会計）



##### 質問

キャッシュレス化の目的は、収納率アップか、市民の利便性の向上か。

##### 答弁

他市町村を確認したところ、収納率アップとはなっており、市民サービスの向上が目的である。

【補正予算】 特産品消費拡大PR事業

350万円

**内容** 市内の宿泊客に対する特産品等の提供や、大都市圏等における販売促進PRを行い、特産品のPR・消費拡大につなげるとともに宿泊客の増加を図る。

**質問** 地元特産品の首都圏等でのPRは、効果があると見込んでいるのか。

**答弁** 宿泊助成事業等と連携し、宿泊客にもてなしをすることは、大変喜ばれていることから、宿泊を予定されている方が多い首都圏等でPRすることは、十分効果があると考えている。

【決算】 交通コミュニティ対策事業

**質問** べんりカーとあいのりタクシーの運行補助金の内訳は。

**答弁** べんりカーが約1,054万円、あいのりタクシーが1,301万円である。



▲べんりカー



▲あいのりタクシー

【決算】 外国語指導事業

**質問** ネイティブ・スピーカーの生の英語を聴き、国際理解を深める効果や、学習意欲の向上が図られたといった効果が示されているが、例えば英検受験者数が増えた等、効果を数値化すべきではないか。

**答弁** 英検の受験率について、令和元年度（年3回）は、189人が受験している。今後は数値化していきたい。



【決算】 健康ポイント事業

**質問** 事業費と費用対効果は。

**答弁** 事業費は98万円で、検診受診者の増加や健康づくり意識の向上を目的に実施したが、目標には満たなかった。

【決算】 有害鳥獣捕獲事業

**質問** イノシシの成獣の捕獲数はどれだけか。

**答弁** 年間761頭である。

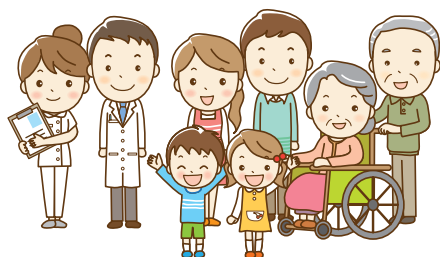
**意見** 狢をされる方が、意欲をもって駆除していただけるような施策としてほしい。

**意見** 農業被害額を考えた上での予算編成を行うべき。

【決算】 国民健康保険事業特別会計

**質問** 国民健康保険税は上がっていないが、今後税率は上がるのか。特別会計上どのような状況か。

**答弁** 予算総額は約68億円、医療給付が47～48億円であり、その5%程度が基金として望ましいが、本市では未だ足りない状況である。国民税の負担が重いのは承知しており、歳入を増やすため、補助金等を活用できるよう努めている。



令和元年度 菊池市一般会計・特別

会計歳入歳出決算の認定について

主な内容

一般会計、国民健康保険事業・後期高齢者医療事業・介護保険事業・特別養護老人ホーム・上下水道事業等の特別会計の決算の認定等を行いました。



歳入歳出決算に関する提言

予算決算常任委員会では、令和元年度歳入歳出決算の審議を通して、次の9事項を提言として取りまとめ、執行部に対して提出しています。

(概要)

1 今回の国の教育ICT施策の推進機会をチャンスと捉え、有効な活用方法と、維持管理費等も含んだ計画を持つべきである。



2 事務処理ミスが頻発しており、データベース化、ミスがあったときの早期発見システムを構築し、市民に不利益が生じないよう事務品質向上に努めるべきである。



3 つまごめ荘の職員についても、段階的にかつ確実に解決できるよう協議し、計画的に進めるべきである。

4 費用対効果を見るため、事業の成果をより一層数値化する。また、数値化する意識を持つべきである。

5 引き続き、債権管理をしっかりと行い、滞納額が減少するよう、債権管理室を中心に全課が取り組むこと。



6 少子化対策・子育て支援は、市独自のメリハリのある予算編成・執行を行い、事業の効果検証・見直しを繰り返し、場合によっては、保健師・保育士の増員や支援額の増額を含めた試みを検討すること。

7 特別会計の状況を的確に把握し、補助金等の活用を踏まえ、適切な予算編成・執行を行うこと。

8 イベントは、実質、市が行っているものがあるが、今後は、地域や団体などが行うよう進め、拡大、統合、集約、削減などの見直し、内容も改革していく必要がある。



9 公共インフラの維持管理は、住民の参加や企業等との連携など検討し、また、物産館等については、今後の施設の運営やあり方等を検討していく必要がある。

## 国へ提出！

### 核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書

(抜粋)

広島と長崎にアメリカの原子爆弾が投下されてから72年を経た2017年7月7日、歴史的な核兵器禁止条約が採択されました。

核兵器禁止条約への調印国はアジア、ヨーロッパ、中南米、アフリカ、太平洋諸国の82か国。批准国は44か国となり、発効に必要な条件(50か国)まで残り6か国となっています。(令和2年8月時点)

被爆国として核兵器全面禁止のために真剣に努力する証として、核兵器禁止条約に参加、調印、批准することを強く求めます。

## 国へ提出！

### 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

(抜粋)

新型コロナウイルス感染症対策として3月には全国で一斉臨時休業が行われ、4月以降も、再開、休業延長、再休業する学校などがあり、学校現場では学びの保障や心のケア、感染症対策だけでなく、新学習指導要領への対応、貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配措置ではなく抜本的な定数改善計画に基づく教職員定数改善

が不可欠です。

国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。

よって、国会及び政府におかれましては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

#### 記

- 1 計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

## 国へ提出！

### 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

(抜粋)

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度、来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は

巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

#### 記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
- 5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

# 12人が市政を問う

## 一般質問

| 質問者    | 質問事項                                                                         | P  |
|--------|------------------------------------------------------------------------------|----|
| ①城 典臣  | 1. 新型コロナウイルス感染症対策について<br>2. 戦争の悲惨さを後世に伝え残すべきと考えるが                            | 9  |
| ②泉田栄一郎 | 1. コロナ禍における市民へのエールを<br>2. 健康ポイント事業について<br>3. 環境問題の取り組みについて                   | 9  |
| ③田中 教之 | 1. 新型コロナウイルス感染症対策について                                                        | 10 |
| ④坂本 道博 | 1. 食味コンクールについて<br>2. 新型コロナ対策としての収入保険について<br>3. 河川増水時の安全対策について                | 10 |
| ⑤東 奈津子 | 1. 小中学校における少人数学級の実現について<br>2. 新型コロナウイルス感染症対策について<br>3. 学校現場における化学物質過敏症対策について | 11 |
| ⑥猿渡美智子 | 1. 地球温暖化対策について<br>2. 新型コロナウイルス感染症拡大時の対応について                                  | 11 |
| ⑦緒方 哲郎 | 1. 小中学生の登校状況について<br>2. 農家に対する支援について<br>3. 農泊について                             | 12 |

| 質問者    | 質問事項                                                                                                                                                    | P  |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ⑧平 直樹  | 1. 健康推進について<br>2. GoTo キャンペーンについて<br>3. 市政運営について                                                                                                        | 12 |
| ⑨荒木 崇之 | 1. 菊池市の公共施設について                                                                                                                                         | 13 |
| ⑩福島 英徳 | 1. 七城温泉ドームの運営について<br>2. 菊池市の第3セクターについて                                                                                                                  | 13 |
| ⑪二ノ文伸元 | 1. ごみ分別における課題と対応について<br>2. コロナ禍における経済対策について                                                                                                             | 14 |
| ⑫木下 雄二 | 1. 7月豪雨の被害状況と復旧の現状について<br>2. 防犯灯、街路灯の現状と今後の対応について<br>3. 学童保育の連絡協議会の設立について<br>4. 移動販売の現状について<br>5. 市職員の市外からの勤務状況について<br>6. 国道387号沿いの太陽光発電事業の地域への環境保全について | 14 |

今回の一般質問では、新型コロナウイルス感染症対策として、一般質問中、概ね30分を目途に議場内の換気を行いました。

### 議会をインターネットで!

傍聴においでいただけない場合でも、いつでもインターネットで本会議の録画映像をご覧いただけます。菊池市のホームページより菊池市議会をクリックし、議会中継をクリックしていただくと議会録画映像を見ることができます。

使い方の説明も掲載していますのでご参照ください。

議会事務局／TEL 25-2325

菊池市議会 議会映像 検索



### 議会傍聴をお待ちしています!

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問者等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席はバリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しください。皆様のお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継でご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、入場に制限がある場合があります。

12月定例会は  
11月27日(金)に  
開会しました。



## 城 典臣議員

# 新型コロナウイルス 感染症対策について



**質問** コロナ禍の中、観光地である本市の観光関連事業の経済に与える影響として、商業施設の例年と比べた売り上げはどうか。また支援策の利用状況は

**回答** 宿泊施設の多くが、90%以上の減収となっており、観光事業継続支援金（宿泊施設・貸切バス事業者）は21件が申請されている。

飲食店の8割超が50%以上の減収、うち2割は90%以上の減収となっており、飲食事業継続支援金は153件が申請されている。

小売店の4割超が30%以上の減収、4割が30%未満の減収となっており、

**質問** 感染者が増加した場合の菊池保健所の対応、本市における感染症情報等の取り扱い、任意でのPCR検査について

**回答** 感染者の宿泊施設は、県が施設を選定し、軽症者が自宅療養となる場合は、居住地の保健所が調整窓口となっている。

感染症情報は、市では県の公表情報に基づき、市民からの問い合わせに対応している。それ以外の情報は、個人が特定され誹謗中傷につながる可能性があり、公表してお

らず、今後この方針で行いたい。

また、任意（自由診療）でのPCR検査は2万円程度かかると言われているが、県や市では行っている医療機関を把握していない。

## 戦争の悲惨さを後世に残すべきと考えるが

**質問** 戦後75年が経過し、新たな証言を聞き取り、後世に残すべきと考える。木護地区には、戦中に米軍機が墜落しており、行政がこうした事実を確認し、後世に残す考えはないか

**回答** 中央図書館では、平和啓発の取り組みとして、戦争の記録や証言を収録したアーカイブを制作していきたい。また、平和を考え、語り継ぐ参事となる当時の資料や映像、戦争体験者の方々の生の声を募集していきたいと考えている。

平和啓発のため活用していくという方針のもとで、広く市民への資料提供を求めている。

## 泉田 栄一朗議員

# コロナ禍における 市民へエールを



続け、状況に応じた対応を行っている。

## 健康ポイント事業について

**質問** 健康ポイント事業が始まって、一年が経過したが、特定健診・がん検診の受診、スポーツイベントや健康講座への参加、日ごろの健康づくりポイントについて、今後の展望を問う

**回答** 周知啓発の拡充や応募用紙をわかりやすくしたり、インターネットでも応募できるよう取り組んでいる。また、広報や回覧、ホームページ等で周知、参加の呼びかけ、応募ボックスの設置か所を増やす等している。

今後は、スマートフォンアプリなどICTを活用し、健診やウォーキング等、日々の継続的な健康活動を「ポイント」と

して「見える化」し、体重、血圧、歩数を記録し日々の変化を観察するとともに、達成感を得ながら、習慣化が図れるようにしていきたい。

## 環境問題の取り組みについて

**質問** レジ袋の有料化が始まったが、市民の意識とマイバッグ持参の現状を問う

**回答** アンケートでは、マイバッグの持参率は、有料化前の51・6%から86・5%へ増加した。

「これをきっかけにごみの減量化や地球温暖化防止につなげてほしい」等の意見があった。今後、レジ袋削減推進協議会を開催し、市民からのご意見を参考にレジ袋削減に努めたい。



## 田中 教之議員

# 新型コロナウイルス感染症対策について



**質問** コロナ禍における経済対策の重要性を感じている。その中で、PCR検査を無症状の方までに拡大したほうがいいと主張する意見があるが、検査体制の現状は、

保健所等で採取した鼻咽頭ぬぐい液（鼻の奥の粘液）や唾液を検査機関等で検査が行われている検査費用は、公費負担で実施されている。

県では、検査体制の拡充が進められており、県北地区にも1か所PCR検査施設が整備されると伺っている。

**答弁** PCR検査は、新型コロナウイルス感染症の有無を検査するもので、現在行われている検査は、行政検査として実施されており、医療機関や県専用相談窓口、保健所等に相談した方が、新型コロナウイルス感染症の疑いがあると判断された場合に、医療機関や

また、検査数が増えるのと軽症者の入院が増えてくることから、医療機関の負担が大きくなることから、県では軽症者を対象に、宿泊療養の体制を確保し、すでに運用されている。

**質問** 「新しい生活様式」を踏まえて、電話・オンライン診療や訪問介

護のニーズが増えると考えるが、市としての対応は



**答弁** 電話・オンライン診療は、診療方法のひとつであり、各医療機関の診療体制等にに応じて、取り組みかどうかは、その医療機関が判断するものとなっていることから、市で判断できるものではない。

市では、市民へ電話やオンラインで診療を受けることができることや、取り組みしている医療機関について、情報提供等を行っている。

## 坂本 道博議員

# 河川増水時の樋門操作について



**質問** 樋門の中のデジタル水位計が壊れているところがあるが、市内に何か所くらいあるのか

**答弁** 国土交通省所管の36か所のうち、現在の9か所が故障しているとのことである。

**質問** 壊れた水位計が修理されていないのは何故か

**答弁** 国土交通省所管の樋門の水位計は、水位確認の補助として設置しているが、センサー等を使用して水位を計測するため、誤表示が多く発生する等の課題が確認されている。また、設置から年数が経過し、故障が多く発生していることや、部品供給期間が過ぎて修理できないものがあり、

原則として修繕は行わないと聞いている。

**質問** 責任が重いので、樋門操作が安全に出来るよう、国へ早急な修理を要請してほしい

**答弁** 操作員の安全が第一であり、排水樋門操作員が安全に操作管理が出来よう、安全柵の設置やフラップゲートへの早期変更等を国土交通省へ引き続き要望していきたい。

**質問** 食味コンクールについて

**答弁** 今年開催される「菊池米食味コンクール」は、九州のお米コンクールは、コロナ禍の中でどのように開催するのか

**答弁** 菊池米食味コンクールは、会場を菊池市民広場内の大屋根広場において、審査員を減らし、無観客で開催される。内容は、例年どおり、食味分析計による食味スコア

ア審査を行い、米食味鑑定士や菊池市米飯官能鑑定士等が実食する食味官能審査により上位入賞者を決定することになっている。



九州の米食味コンクールは、第4回九州のお米食味コンクールとして宮若市で開催される。食味分析計による食味スコアの審査のみのコンクールとなっている。

**質問** 農業経営収入保険について

**答弁** 新型コロナウイルスの影響で、農家収入が減少した場合、収入保険の補償対象となるのか

**答弁** 収入保険は、農業経営全体を対象とした保険制度であり、自然災害による収入減少だけではなく、価格低下も含めた収入減少を補償する制度であるため、新型コロナウイルスの影響により収入が減少した農業者の場合も、収入保険の対象となる。

## 東 奈津子 議員

### 少人数学級の実現について



**質問** コロナ禍のもと

で、子ども達は不安やストレスを抱えており、一斉休校等により学びの格差も深刻である。子ども達のケアと学び、感染防止の上で、少人数学級の実現は急務であると考えているが、教育長の見解は

**答弁** 以前から、個別

の対応など教育の質の向上を図るため、35人学級が望ましいと考え、国や県に早期実現を要望している。

また、コロナ禍において、子ども達の学力を丁寧につけていくことやケア、感染症防止の観点からも少人数学級の必要性



は強く認識しているが、法的な観点や財政的な観点から厳しいものと考えており、引き続き、国・県へ向け強く要望していきたい。

**質問** 国・県に要望を

上げつつ、市独自で35人を超える学級の解消に取り組んでいくべきと思うがどうか

**答弁** 法的な観点から、

本市の一部の学校だけを、35人学級にすることは難しい。本市のすべての小中学校を35人学級を実施

した場合、それに伴い増える教員数は12人となり、県費教職員の平均給与から試算すると、12人分で約9,840万円が必要となる。

### 新型コロナウイルス感染症対策について

**質問** 感染症を抑える

ことと、経済活動を両立させるためには、PCR検査等を拡充し、感染者を保護、隔離していくことが感染症対策の基本であると考えている。PCR検査体制の拡充について、市として県に求めるべきと思うがどうか

**答弁** 今後、感染拡大

を防ぐためにも、感染が疑われる方の検査が速やかに実施できるよう、検査体制の拡充が必要と考えている。県からは、県北地区にも1か所PCR検査施設が整備されると伺っている。PCR検査施設が増えることにより、感染が疑われる方の検査が速やかに実施されていくものと期待している。

## 猿渡 美智子 議員

### 新型コロナウイルス、次の感染拡大へ備えを



**質問** 福祉施設でのク

ラスターが全国で多数発生している。想定される職員不足や、帰宅困難になったケースに対応する体制はできているか

**答弁** 障がい者支援施設や高齢者の入所施設で

クラスターが発生した場合、職員の不足分を市内の事業所のみで確保することは、厳しい。県では、現在、応援職員を派遣できる体制を準備しているとのことであり、本市としても県に依頼していきたい。帰宅困難になった職員が宿泊する施設については、費用を補助する制度はあるが、市が宿泊

場所を確保することは考えていない。

**質問** 学校で感染者が出た場合、休校等に関する基準はできているか

**答弁** 熊本県教育委員

会がガイドラインを作成し、学校休業の基準が示されている。それを基に市教育委員会では、休業する規模を3項目に分け、めやすを示している。学校で感染者が出た場合は、学級あるいは学年・学校単位の休業について、状況に応じた対応を学校と

### 温暖化対策、できることから

**質問** 豪雨や台風の大

型化の要因は、地球温暖化にある。温暖化対策のひとつとして、二酸化炭素を減らす効果のあるバイオマスプラスチック製の指定ごみ袋を導入する考えはないか

**答弁** バイオマスプラ

スチック原料の利用促進により、焼却時に発生する二酸化炭素等の温室効果ガスの削減が図られ、地球温暖化防止対策に寄与するという観点から、バイオマスプラスチック配合の指定ごみ袋の導入は、有用性の高い取り組みのひとつであると考えている。しかし、作製経費は増加する見込みとなっており、総合的に判断する必要があることから、慎重に協議、検討を進めていきたい。



教育委員会で検討し判断していくことになる。

## 緒方 哲郎 議員

# コロナ禍における現状と対策は



**質問** 小中学生の登校の状況と、不登校対策はどのようなことを行っているのか。また、保護者への対策は

**答弁** 7月末での小中学校における不登校児童生徒数は、昨年度が41人、今年度が29人となっております。数値だけでは減少傾向にあるが、本年度は夏休みまでの登校日が昨年度より少なく、一概に減少しているとは言えないため、引き続き不登校問題を大きな教育課題として、丁寧な対応をしていきたい。

不登校対策としては、



菊池市不登校対策協議会を設置しているほか、「学校支援コーディネーター」と「スクールソーシャルワーカー」を配置している。

不登校児童生徒の保護者からの相談は、学校では学級担任などの教職員や心の教室相談員が、教育委員会では適応指導教室指導員、スクールソーシャルワーカーや学校支援コーディネーターが個別の相談に応じている。更に、子育てに悩みの保護者に対しても、保護者との関係づくりに努めている。

## 農家に対する支援について

**質問** 耕種農家に対する補助の実績と、補助事業の採択要件となるポイントの確保について

**答弁** 施設整備や機械導入の補助事業を活用された耕種農家の実績は、令和元年度では、18の事業主体が取り組まれ、事業対象農家数は151戸、総事業費は12億3、890万円、うち補助金額は5億6、847万円となっている。

国や県の補助事業は、補助対象となる農業者を選定するためのポイント制が導入されており、市では、国や県、JA等と連携し、法人化や担い手への農地集積の推進を図り、本市独自の補助制度である「菊池市認定農業者規模拡大推進事業補助金」の交付により、認定農業者の規模拡大に対する支援を行っている。

## 平 直樹 議員

# 健康推進について



**質問** 健康寿命を延ばすための施策は

**答弁** 市では、ジュニアスポーツクラブや市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進員協議会等による活動や各種イベント、スポーツの普及を図ること

で、生涯を通じてスポーツに親しめる環境づくり、健康・長寿のまちづくりを進めている。

特に健康増進や健康維持を目的としたものでは、20歳以上を対象とした「さわやか健康教室」や、高齢者の生きがいづくりと健康増進を目標とした総合型地域スポーツクラ



ブによる高齢者健康教室の開催の普及にも努めている。

**質問** 65歳以上の方に社会体育施設の利用料免除の考えは

**答弁** 現在、行っていないが、プールやトレーニングジム等の個人利用について、今後検討していきたい。

## 市政運営について

**質問** 市長のこれまでの市政運営の成果は

**答弁** 観光面では、菊池溪谷に新しいビジターセンターができ自然遊歩道とともに生まれ変わった。また、市民広場の再整備、菊池一族歴史街道づくり広域連携事業を行った。

農業面では、元の庁舎予定跡地に大規模な育苗

企業を誘致した。また、菊池の農業用水井手群が世界かんがい施設遺産に認定された。

施設関係では、キクロスの完成、旭志支所の建て替え、泗水支所の改修と子ども健診センターを新設した。また、学校跡地は、龍門小の新たな活用と迫水小の売却を実現した。

特にご心配の多かったつまごめ荘の完全民営化も実現した。

至らぬ点は多々あるが、関係各位のご協力や職員の頑張りで、一定の成果は上がってきている。

**質問** 市長選を含め、今後は

**答弁** さらなる情熱と気概を持って、コロナ脱却、ふるさと再生と、真に豊かで幸せな市民の生活を実現するために、無私の心で、一身を投げ打つ強い決意で3期目に挑戦させていただく所存である。引き続き皆様のご指導、ご鞭撻をいただきたい。

## 荒木 崇之議員

# 全国ワースト6位！ 公共施設削減は急務！



**質問** ハコモノの維持費が平成28年時に11億8,900万円であったのが、令和元年に12億100万円と増えている。公共施設削減は急務であると掲げていたのに増加している原因は

**答弁** 増加の理由は、平成29年度までに市役所本庁舎及び生涯学習センターの整備が完了し、それぞれの施設規模が増加したことによるものと考えている。

**質問** 令和2年7月に発表された自治体財政ランキングでは、菊池市は821市中585位で、公債費負担比率も19・

2%（危険ラインは20%）と財政状況が悪化していると分析するが、市長は、今でも菊池市の財政は、合志市（164位）に次いで健全財政であると市民に言えるのか ※公債費負担比率・公債費（借金）に割り当てられた一般財源の額が、一般財源総額に占める割合で表します。財政運営上15パーセントが警戒ライン、20パーセントが危険ラインとされている。

**答弁** 財政の健全化を見る指標として、国から出されている健全化判断比率という4つの比率がある。

言われている時点では、財政は非常にいい状態にあり、今も財政状況はそんなに危うくはないが、合併に伴うプロジェクトが非常に遅れ、庁舎、図書館、市民広場等に着手



し始めたのが私の就任した年である。事業には、有利な地方債等を活用し、負担を軽減しているが、今の時期に集中してしまい、また合併特例債と経過措置等の特例が終わってきたため、借入れの負担が増えてきた。これは今後数年で平準化されていく。

しかし、赤字はまだ無く、借入れの比率も有利な借入れを使っている中で、表面的な借入れが増えても、実質公債費比率は10・5%である。また、将来負担比率は、合志市と同じく、今まではマイナス、現在は4というところで、引き続きご心配をいただくような状況にはないが、将来のことを考え、しっかりと財政基盤をつくり上げておくことは間違いないことである。

## 福島 英徳議員

# 菊池市の第三セクターについて問う



**質問** 菊池市の第三セクター（7社）の中でも、メロンドームと温泉ドームの接待交際費が突出しており、領収書の内容から

もかなり杜撰（ずさん）な使われ方だと思われるが、取締役でもある首長としてどのように思うか？また今後改善する考えはあるか

**答弁** 現在、各施設に對し、交際費の現状、管理の方法、税理士との確認の方法等の報告を求めているが、その内容をしっかりと吟味し、もし是正すべきところがあれば是正していきたい。また、これは各社の業務運営に関

わる事柄であり、それを今、3セク全体のありようを見直すと結論づけるには早いと思うし、そもそもちよつと次元の違う話ではないかと考えている。よって、まずは市が各社からどういう運営になっているかをよく聞き取って、点検をしたいと考えている。

## 七城温泉ドームの運営について問う

**質問** 七城温泉ドームの経営状況は、決算書からかなり健全だと判断される。しかし経営が厳しいとの理由で、フリーパス券の突然の廃止や、利用料金の値上げ、営業時間短縮になっているが、設立当初の目的でもある住民サービスの観点から見直す考えはないか

**答弁** 利用料金は、議

会の承認が必要だが、条例で定めている関係上、上限額ということでご承認いただいている。その範囲の中で当社が料金を設定するというところであり、現在、条例で決めた上限額よりも下回った形で、当社として努力しながら、なるべく小幅の上げで留めているということである。あくまで、市からの料金に対する許認可は上限額であり、フリーパスは、その範囲の中で当社が営業政策の観点から判断する話であり、市としては、これについて特段コメントする立場にはない。



## コロナ禍における 経済対策について



用があった。

プレミアム付き商品券は、販売時の人員集中を避けるため、販売か所数を増やすことで人を分散させるようにした。また、無料で全戸配布すると購入意欲のない方の場合、使用されず消費につながらない可能性があるため、今回はプレミアム率の高い商品券を希望される方に販売することにした。

**質問** コロナ禍における本市での宿泊業及び飲食業への支援状況と課題、プレミアム付き商品券の販売における課題と今後の対応について、また感染症予防と経済対策のバランスをどう図っていくのか。

**答弁** 支援の状況は、観光事業継続支援金は6月30日で宿泊事業者16件、貸切バス事業者5件の申請、飲食事業継続支援金は8月7日で153件の申請、小規模事業者持続化補助金は、8月7日で163件の申請のうち宿泊業6件、飲食業22件の申請、宿泊費助成事業は8月28日で628人の利用があった。

観光事業継続支援金は6月30日で宿泊事業者16件、貸切バス事業者5件の申請、飲食事業継続支援金は8月7日で153件の申請、小規模事業者持続化補助金は、8月7日で163件の申請のうち宿泊業6件、飲食業22件の申請、宿泊費助成事業は8月28日で628人の利用があった。



を見ながら、必要な施策を講じていきたい。

## ごみ分別における経済対策について

**質問** ごみ分別移行期間における現在での回収方法での課題と対応、住民からの質問や苦情等の対応はどのような状況か

**答弁** ごみの収集方式が変わり、分別の方法が難しくなったということが課題であり、市では、新しいごみの分け方、出し方等を紹介するDVDや住民説明会、まちづくり出前講座を通じて説明を行ってきた。

市民からのご意見・お尋ねは、分別方法の変更に關する問い合わせが最も多く、本年4月1日から累計で約3、200件となっている。主な内容は、ごみの品目ごとの分け方や出し方をはじめ、資源物の種類が8種類に増えたことで各家庭内におけるストックヤードの確保が難しい等のごみ出しに不便さを感じられているといったことである。

## 7月豪雨による農地復旧事業の現状と拡充について



**質問** 7月豪雨を国も激甚災害に指定し、被災自治体の財政負担を軽減し、早期復旧を後押ししているが、市の特に甚大な被害を受けた中山間地域の農地復旧国庫補助事業小災害復旧事業の状況と拡充は

**答弁** 今回の豪雨災害の場合、国庫対象は復旧工事費が40万円以上となっており、8月末で農地が9件、農道や用排水路が11件である。

小災害は、農地、農業用施設で約300件あり、本市独自の農地及び農業用施設小災害復旧事業補助金で対応している。この補助金は、災害農地の工

地が11件である。小災害は、農地、農業用施設で約300件あり、本市独自の農地及び農業用施設小災害復旧事業補助金で対応している。この補助金は、災害農地の工



▲7月豪雨で崩壊した棚田

外居住対象者は33人で約901万円を支給している。

## 国道387号沿いの太陽光発電事業の地域への環境保全について

**質問** 国道387号沿いの太陽の光を追尾する追尾架台式の太陽光発電事業に対して、市の環境基本条例による開発業者への対応の遅れも含め、これまでの経緯、事業の概要、地域環境保全について

**答弁** 今年2月に市内事業者の追尾型太陽光発電施設を確認し、3月下旬に聞き取りを行い、開発前の手続である市との事前協議や市の環境基本条例の趣旨、住民説明会の開催等を説明し、事前協議書の提出を求めた。その後、事前協議書が提出されたが、条例に違反したケースであり、協議終了までの開発中断の要請を行った。

計画では、豊間地区に15基、大平地区に32基、重味地区に10基あり、高野瀬地区では3基が稼働している。住民説明会では、意見や要望の聞き取りが行われており、市は、諮問機関の環境審議会を開催し、現地調査や土木・景觀の学識経験者の意見を聞き、事業者と地区の代表による三者の協定書締結を進めている。

## 令和2年第4回定例会日程の予定

| 月日                 | 区分         | 日 程                                 |
|--------------------|------------|-------------------------------------|
| 11月27日             | 本会議        | 開会・開議・会期の決定<br>議案上程・提案理由説明          |
| (11月28日～12月1日 休会)  |            |                                     |
| 12月2日              | 本会議<br>委員会 | 質疑・委員会付託<br>予算決算常任委員会               |
| 12月3日              | 本会議        | 一般質問                                |
| 12月4日              | 本会議        | 一般質問                                |
| (12月5日～12月6日 休会)   |            |                                     |
| 12月7日              | 本会議        | 一般質問                                |
| 12月8日              | 本会議        | 一般質問                                |
| 12月9日              | 委員会        | 常任委員会（予算決算分科会）<br>・総務文教 ・福祉厚生 ・経済建設 |
| 12月10日             | 委員会        | 常任委員会（予算決算分科会）<br>・総務文教 ・福祉厚生 ・経済建設 |
| (12月11日～12月14日 休会) |            |                                     |
| 12月15日             | 委員会        | 予算決算常任委員会                           |
| (12月16日～12月17日 休会) |            |                                     |
| 12月18日             | 本会議        | 委員長報告・質疑・討論・採決・閉会                   |

※会期中に日程が変更になる場合があります。

## 令和2年度 議会報告会・ 意見交換会の中止について

菊池市議会では、開かれたわかりやすい議会を目指し、毎年議会報告会・意見交換会を開催していましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止することにいたしました。

市民の皆さまのご理解のほど、よろしくお願いいたします。

## 議会の動き

|     |    |   |                      |
|-----|----|---|----------------------|
| 8月  | 12 | 水 | 議会運営委員会<br>議会広報特別委員会 |
|     | 19 | 水 | 議会運営委員会<br>議会報告会運営会議 |
|     | 26 | 水 | 令和2年第3回定例会～9月25日まで   |
| 9月  | 30 | 水 | 議会改革特別委員会            |
| 10月 | 5  | 月 | 議会広報特別委員会            |
|     | 12 | 月 | 総務文教常任委員会所管事務調査      |
|     | 15 | 木 | 熊本県市議会議長会（合志市）       |
|     | 16 | 金 | 議会改革検討特別委員会          |
|     | 19 | 月 | 議会広報特別委員会            |
|     | 21 | 水 | 月例会                  |
| 11月 | 2  | 月 | 議会広報特別委員会            |
|     | 27 | 金 | 令和2年第4回定例会～12月18日まで  |

※紙面印刷の都合上、11月分の行事は発行直前に変更となっている場合がありますので、御理解願います。

## 議長交際費を公表します

議長交際費の令和2年8月1日から10月31日分は、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議・イベント等が中止となっているため、会費や負担金の支出が無く、支出しておりません。

議会広報特別委員会では、市民の皆さまが笑顔になって、元気になってもらいたいと考え、今回は菊池幼稚園、菊池幼楽園、福本保育園の『イモほり』に参加してきました。子ども達の手より大きなおイモがたくさん収穫できました。子ども達の元気な笑顔をご覧ください。



### 菊池幼稚園

こんなに大きなおイモさん、重いよお。よいしょ、よいしょ、がんばりました。



### 菊池幼楽園

素敵な笑顔をお礼。おうちで、おいしいスイートポテトを作ります。



### 福本保育園

見てみて。わたしたちの顔より大きなおイモさん、こんなにたくさんほりました！



## 編集後記

○秋晴れの中、笑顔で夢中に“芋ほり”をしている子どもたちの姿をカメラに収めることができました。コロナ禍において少しでもほっこりできるかなとの思いで、表紙を飾らせていただきました。この編集後記の上段にも笑顔いっぱいの子供たちであふれています。協力していただいた菊池市内の幼保育園の皆さまにはお礼を申し上げます。

○例年だとコスモスウォークラリーが行われるコースには、きれいなコスモスが咲き誇り、特に休日には県外からの観光バスも停まるほど、たくさんの方々に癒しを与えたのではないのでしょうか！市民の皆さまが手に取って、読みやすく、わかりやすい「議会だより」づくりを目指してまいりますので、いろんなご意見をお待ちしています。

福島 英徳

### ■議会広報特別委員会■

委員長 / 東 奈津子  
委員 / 福島 英徳

副委員長 / 田中 教之  
猿渡美智子 工藤圭一郎 泉田栄一郎